

# 論文要約

平成 19 年入学

医歯学総合研究科

先進治療科学専攻

研究分野

生理活性物質制御分野

氏名

下川原 裕人

## 【タイトル】

急性心筋梗塞患者における血中 **Vascular Endothelial Growth Factor** 濃度と左室容積との関連

## 【序論および目的】

急性心筋梗塞(Acute Myocardial Infarction: AMI)患者では血漿 **Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF)** 濃度が上昇することが報告されている。しかし、その臨床的意義については不明のままである。そこで今回、急性心筋梗塞患者における左室拡大と血漿 **VEGF** 濃度との関連について検討した。

## 【材料および方法】

38 例の AMI 患者において、AMI 発症後 1 週間は毎日、その後は 1 週間おきに 1 ヶ月間の血漿 **VEGF** 濃度を測定した。更に AMI 発症 2 週間後、6 ヶ月後、2 年後において左室造影検査を行った。更に入院時の血漿 **VEGF** 濃度を基準に **VEGF High** 群と **VEGF Low** 群の 2 群間に分類した。

## 【結果】

血漿 **VEGF** 濃度は AMI 発症 6 日後をピークとして上昇し、ピーク **VEGF** 濃度は AMI 発症 14 日後の左室造影検査における左室拡張末期容積、左室収縮末期容積と有意な正の相関関係を認めた。**VEGF High** 群は **VEGF Low** 群と比較して AMI 発症 14 日後の左室容積が有意に拡大していた。しかし、慢性期(6 ヶ月後と 2 年後)にはその容積拡大は認められなかった。

## 【結論及び考察】

AMI 発症後、血漿 **VEGF** 濃度は上昇するが、そのピーク **VEGF** 濃度は 2 週間後の左室容積と有意な相関関係を認めた。内因性 **VEGF** は AMI 後の左室容積の縮小に関して、重要な役割を果たしている。